

母体行と一体となり地域の環境課題の解決を意識した事業活動を展開し自治体連携体制の構築と ESG リースの周知を図る

【代表的な取組No.2：波及性】

池田泉州リース株式会社

1. 取組の概要

母体行が実施するグループ会社トレーニーにおいて、脱炭素経営や ESG 手法スキルアップの啓発に努めた。

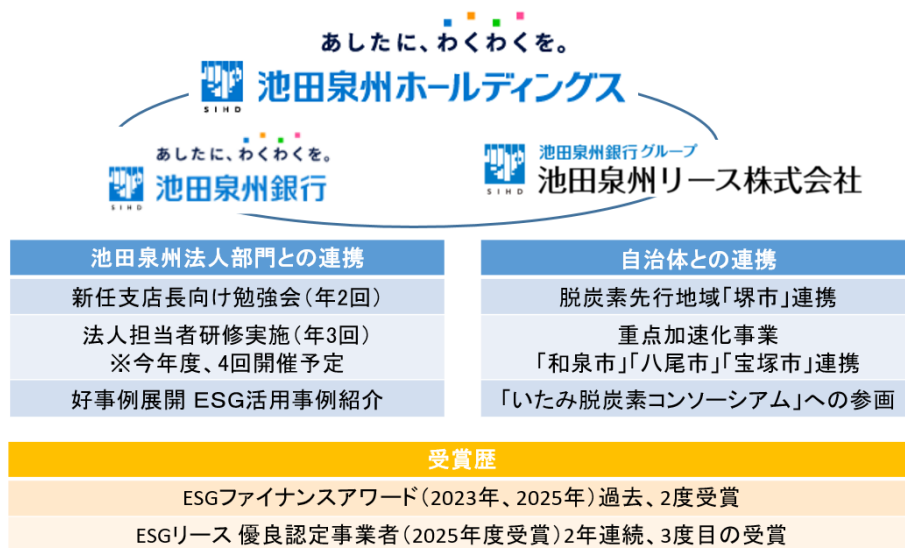
自治体の脱炭素経営支援プログラムへの協力を通じて地域企業の課題解決の提案へ繋げている。

グループ会社を活用した地域課題ソリューションとして、ESG リースによる支援を母体行営業の評価ポイントに取り込む取組を行っていく。

2. 取組の目的

当社は、お取引先が取り組む SDGs の目標や脱炭素社会に向けたグリーン電力の活用と CO2 の削減、昨今のエネルギー価格高騰問題など、これらの社会課題の解決にリースを通じて貢献することを目指しています。

3. 取組のポイント



収益貢献の可視化が困難な脱炭素設備導入について、長期的な視点を持って補助金メリットやシミュレーション提示による見える化の提供を行います。

4. 今後の展望

アライアンス先との提携を幅広く行い、取引企業のサプライチェーンからの要請に応えるための助言と設備導入の後押しのツールとして ESG リースの活用提案を推進していきます。